



## 「えるる」はまちなかから元気を発信する施設 中心市街地活性化にも大いに期待する



公明党議員団  
塩塚 敏郎 議員

9月9日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について (1) 現政権に対する期待 (2) 普通交付税の錯誤措置 (3) 福岡ソフトバンクホークス・ファーム本拠地の誘致活動
- 2 中心市街地活性化について (1) 市民活動等多目的交流施設「えるる」の活用 (2) 市と協働するNPO法人の役割
- 3 住み続けたい魅力あるまちについて (1) 定住自立圏構想の展望
- 4 道の駅「おおむた」花ぶらす館の将来の見通しについて

### 市長の政治姿勢について

#### 現政権に対する期待

**問** 参院選の結果、日本経済を本格的に回復させるための政治が整ったと思う。現政権に対する期待、見解を聞きたい。

**答** ねじれ解消により、経済政策や税・社会保障の見直しを初め、防災・減災対策など、国民の生活に直結する政策決定、法案成立のスピードも上がると思われる。

#### 普通交付税の錯誤措置

**問** 予算への影響と財源不足への対応を聞きたい。

**答** 25年度の普通交付税及び臨時財政対策債の決定額が当初予算を大幅に下回り、6億4,700万円の予算割れとなる。この財源不足額の圧縮に全力で取り組む。

#### 福岡ソフトバンクホークス・ファーム本拠地の誘致活動

**問** 市長の強い決意を聞きたい。

**答** 大牟田まちづくり市民会議の総会で、25年度の緊急事業としてファーム誘致に全市一丸となって取り組んでいくことが満場一致で決定された。誘致が実現すれば本市を初め、有明圏域のまちづくりにつながり、子供たちに夢を与え、次世代の育成、地域の一体感、地

域のイメージアップ、にぎわいの創出など、さまざまな効果が期待される。ファームの立地はまちづくりの大きな転機となる。

### 中心市街地活性化について

#### 市民活動等多目的交流施設「えるる」の活用

**問** 将来展望について聞きたい。

**答** 子供から高齢者まで、誰もが集い、交流し、出会い、触れあい、学びあい、つながる中で、市民活動を促進するとともに、にぎわいを創出し、まちなかから元気を発信し、大牟田全体に元気を広げていく施設としたい。



市民活動等多目的交流施設「えるる」

#### 市と協働するNPO法人の役割

**問** NPO法人は、公共サービスの新たな担い手となり、中心市街地活性化には欠かせない。市と協働するNPO法人の役割とは。

**答** 本市には31団体のNPO法人がある。NPO法人は、市民みず

からが身近な問題を自分たちで解決するため、自主的・自発的に立ち上げられた団体であり、行政では十分に対応できないような分野や公共サービスに対し、対応できる強みがある。この強みを生かして、お互いに補完をしながらまちづくりを進めていく。

### 住み続けたい魅力あるまちについて

#### 定住自立圏構想の展望

**問** これまでの総括を聞きたい。

**答** 定住自立圏の取り組みが、開始してまだ2年半程度であり、今後、圏域を拡大した荒尾市・南関町・長洲町との協定項目を追加した定住自立圏共生ビジョンを9月末ごろに変更決定する予定。

### 道の駅「おおむた」花ぶらす館の将来の見通しについて

**問** 経営状況と将来の見通しは。

**答** 近年の経営状況は、近郊の競合施設の影響や客単価の減少など、取り巻く環境は厳しく、21年度から24年度まで4年連続で赤字を計上し、厳しい経営状況にある。

今後とも(株)花ぶらすの再建計画の推進に対し、関係団体との連携による強力な支援を行い、花ぶらす館の円滑な管理運営が継続的に行われるよう努める。